

PRESS RELEASE

2010年10月28日
在日フランス大使館 対仏投資庁 日本事務所
<http://www.invest-in-france.org/jp>

オンコセラピー・サイエンス、フランスでがん研究に着手

オンコセラピー・サイエンス株式会社(本社 川崎市、代表取締役社長 角田卓也)は、去る10月18日、ジェラルム・コロム リヨン市長の来日に際し「最新の日本投資企業」賞を受賞した。この受賞は、ローヌ・アルプ地方に今年5月に同社初の海外子会社としてLaboratoires OncoTherapy Science France S.A.R.L.(OTS France) を設立したことが称えられたものである。

同社の発祥は、東京大学におけるバイオテクノロジーを応用した包括的ゲノム解析によるがん治療薬の研究開発にさかのぼる。OTS Franceは、ジャン＝イヴ・ブレ(Jean-Yves Blay)教授、リヨンのレオン・ベラル(Léon-Bérard)病院がんセンター、リヨン・オーベルニュ・ローヌアルプ地方がん研究クラスター(Cancéropôle Lyon Auvergne Rhône Alpes :CLARA)と共同で、有効な治療法が無い肉腫に対する抗体医薬の研究開発を目的に治験(フェーズ I / II 試験)を行う。

現在、OTS Franceは、順調に治験に向けての準備を進めており、来年度にはジャン＝イヴ・ブレ教授との共同治験を開始する見込みである。ブレ教授は肉腫治療の世界的権威であり、2009年よりヨーロッパの約300の病院・がんセンターで構成されるがん治療専門医グループであるEORTC (European Organization for Research and Treatment for Cancer) の代表 (president) を務めている。

対仏投資庁(AFII)と地方パートナーであるADERLY(リヨン経済開発公社)は、OTS France 設立を支援、がん研究クラスターで扱う数あるプロジェクトから、同社の肉腫治療抗体医薬の研究開発プロジェクトが選出され、研究開発公的支援が受けられるようサポートした。

対仏投資庁日本事務所代表、クリストフ・グリニョンは「フランスでは欧州最高率の研究開発税額控除を受けられること、がん研究専門の高い技術を持つ地方クラスターがあることが日本企業の進出につながっています」と説明している。

オンコセラピー・サイエンス株式会社 仏子会社概要

- 名 称: Laboratoires OncoTherapy Science France S.A.R.L.
- 代表者: 角田卓也
- 設 立: 2010年5月

オンコセラピー・サイエンス株式会社

神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1
取締役管理本部長 山本 和男 Tel: 044-820-8251

ADERLY(フランスリヨン経済開発公社)

ローヌ・アルプ地域圏における国際企業誘致を行う機関 www.aderly.com/
Mme Emmanuelle SYSOYEV Tel: +33.4.72.40.57.15 Sysoyev@aderly.com

対仏投資庁 (略称 AFII)

フランスへの国際投資誘致、進出企業向け支援を担当する国の機関。フランス国内および北米、欧州、アジア各国におかれた在外事務所を結ぶネットワークで機能している。フランス国内各地方の経済開発機関との緊密な連携により、最良のビジネス機会とそれぞれのニーズに応じたサービスの提供を行う。<http://www.investinfrance.org/jp/>

在日フランス大使館 対仏投資庁 広報担当 ジェレミ・エルヴェ(Jérémy HERVÉ) TEL : 03-5798-6144 (直通)